

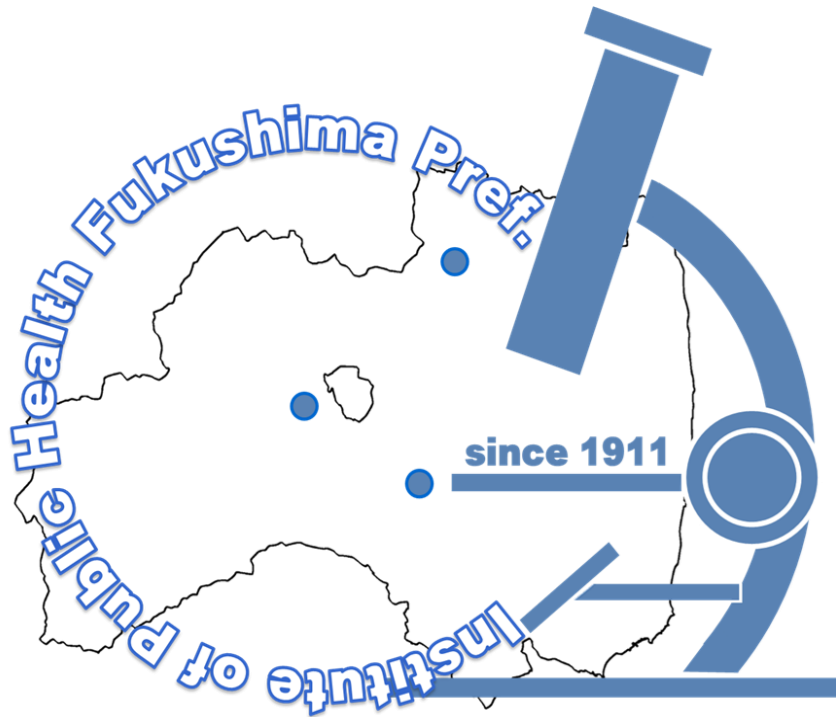
シン・所長の部屋

「衛生研究所」 について

2026年6月

～衛生研究所では、なにをしているのだろうか？～
その7

福島県 衛生研究所



Fukushima Prefectural Institute for Public Health

「衛生研究所」では、何をしているのだろうか？ の 第七弾 です。

引き続き、

衛生研究所 **微生物課** の

検査・調査研究 業務について、
具体的に解説をします。

微生物課には、

細菌部門と**ウイルス部門** があります。

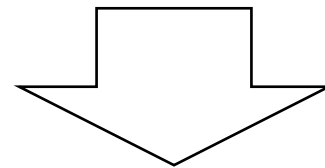
この2つの部門の業務

⇒ **どんな検査、調査、研究**をしているのか？

についての三回目です。

微生物課の業務

- ◆ 感染症を引き起こす病原微生物について、**原因究明と感染拡大防止のための試験検査や調査研究**を行っています。
- ◆ 食品を汚染し、食中毒を引き起こす微生物やその**産生毒素**についての**試験検査や調査研究**を行っています。
- ◆ 県内の感染症の流行を把握するための試験検査や調査研究を行い、県民の感染症予防や健康保持に貢献します。



それぞれ事業化している業務について、解説します

感染症・食中毒の原因究明等に係る 病原体検査（行政依頼検査）

行政依頼検査とは？

保健所長が公衆衛生上必要と認める場合に依頼する検査

= 「感染症の発生を予防し、又は感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするため必要があると認めるとき」（感染症法第15条）に実施

ウイルス

エムポックス、急性弛緩性麻痺、急性脳炎、麻しん、風しん、A型肝炎、E型肝炎、
新型コロナウイルス、デング熱、新型インフルエンザ、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）、
MERS（中東呼吸器症候群）、ノロウイルス など

細菌

劇症型溶血性レンサ球菌感染症、腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢、コレラ、腸チフス
及びパラチフス、*Salmonella Enteritidis*、*Escherichia albertii*、
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、結核 など

感染症発生動向調査事業

「**感染症発生動向調査事業実施要綱**」に基づき、感染症の発生予防、蔓延防止、公衆衛生の向上及び増進を図るため、県内の**病原体定点医療機関**で採取された検体について、**病原体の検索・特定**を行い、結果をホームページで還元しています。

対象疾患

ウイルス：RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザなど
細菌：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎 など

◆病原体検出情報

随時、福島県衛生研究所ホームページに結果を掲載しています。

【ウイルス】

[採取月別病原体検出情報（ウイルス）【2026年5月8日現在】](#) [PDFファイル/140KB] **NEW!!**

[搬入月別病原体検出状況（ウイルス）【2026年5月8日現在】](#) [PDFファイル/118KB] **NEW!!**

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/kansenshojoho.html#byou>

採取月別病原体検出状況（ウイルス）

令和8年5月8日現在

| | R7/ 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | R8/ 1月 | 2月 | 3月 | 総計 |
|---------------|-----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----------|----|----|----|
| Adenovirus 1 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 2 | | | | 9 |
| Adenovirus 2 | | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 21 |
| Adenovirus 5 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 |
| Adenovirus 6 | | | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | 4 |
| Adenovirus 31 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| Adenovirus 41 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| Adenovirus 54 | | | | | | 2 | | | 3 | 3 | 2 | | 10 |
| Adenovirus 56 | | 1 | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | | | | | | | 2 |

採取月別細菌分離状況

| 分離細菌 | R7 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | R8 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 総計 |
|-----------------------------------|----------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----------|----|----|----|----|
| Streptococcus pyogenes A群 T-1 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 4 |
| Streptococcus pyogenes A群 T-3 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| Streptococcus pyogenes A群 T-4 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| Streptococcus pyogenes A群 T-B3264 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| Streptococcus pyogenes A群 T型別不能 | | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| 総計 | 2 | 6 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 | 1 | 1 | 1 | 4 | 25 |

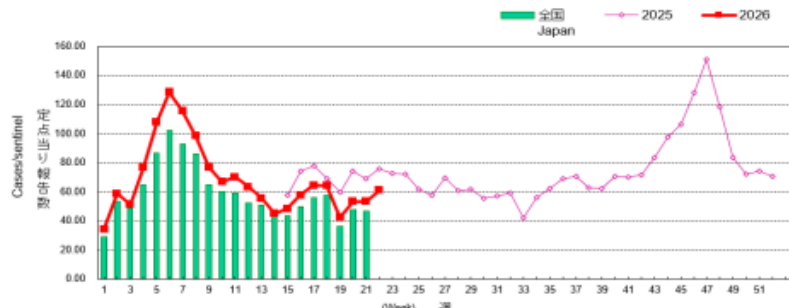
◆急性呼吸器感染症(ARI) サーベイランス事業

急性呼吸器感染症(ARI) とは、
 急性の**上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎)** 又は
下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎) を指す病原体による症候群の総称。
 インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、
 ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎などが含まれる。
 2025年4月から、**感染症法上の5類感染症に位置づけられ、
 定点サーベイランスの対象**となった

急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出状況

9月搬入分 [PDFファイル/319KB] **NEW!!**

【地域別 定点当たりの報告数】



急性呼吸器感染症(ARI)病原体サーベイランス検出状況(9月搬入分)

●検出一覧

| 番号 | 診断名 | 検出ウイルス | 採取週 | 年代 | 検査材料 |
|----|------------|------------------------------|-----|------|--------|
| 1 | 急性上気道炎 | Parainfluenzavirus 3 | 31週 | 1歳未満 | 鼻咽頭拭い液 |
| 2 | 急性上気道炎 | Adenovirus 2 | 31週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| | | Rhinovirus sp. | | | |
| 3 | 急性上気道炎 | Rhinovirus sp. | 31週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| 4 | 急性咽頭炎 | Rhinovirus sp. | 31週 | 10代 | 鼻咽頭拭い液 |
| 5 | 急性咽頭炎 上気道炎 | Adenovirus 2 | 32週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| | | Rhinovirus sp. | | | |
| 6 | 急性気管支炎 | Rhinovirus sp. | 32週 | 1歳未満 | 鼻咽頭拭い液 |
| 7 | 急性咽頭炎 上気道炎 | Adenovirus 2 | 32週 | 1歳未満 | 鼻咽頭拭い液 |
| 8 | 急性気管支炎 | Rhinovirus sp. | 33週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| 9 | 急性気管支炎 | Parainfluenzavirus 4 | 33週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| 10 | 急性上気道炎 | SARS-CoV-2(PQ.14) | 33週 | 1歳未満 | 鼻咽頭拭い液 |
| 11 | RSウイルス感染症 | RSvirus A | 33週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| 12 | 急性上気道炎 | Human rhinovirus/enterovirus | 33週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |
| 13 | 急性上気道炎 | RSvirus A | 34週 | 1-4歳 | 鼻咽頭拭い液 |

感染症流行予測調査事業

集団免疫の現状把握、病原体の検索等の調査を行い、各種疫学資料と併せて検討し、予防接種事業の効果的な運用を図り、さらに、長期的視野に立ち、総合的に疾病の流行を予測することを目的に実施しています。

感受性調査

抗体価を測定し、免疫力保有状況を調査

- ・新型コロナウイルス感染症 (R8実施なし)
- ・麻しん

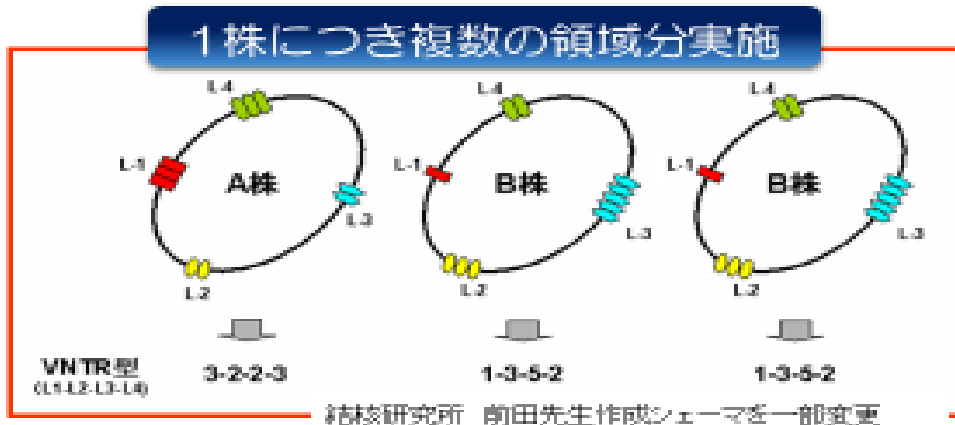
感染源調査

環境水（下水）を用いて病原体を検索・調査

- ・ポリオ
- ・新型コロナウイルス感染症 **(R6から開始)**

結核菌の検査

Variable **N**umbers of **T**andem **R**epeats
(反復配列多型) 分析法



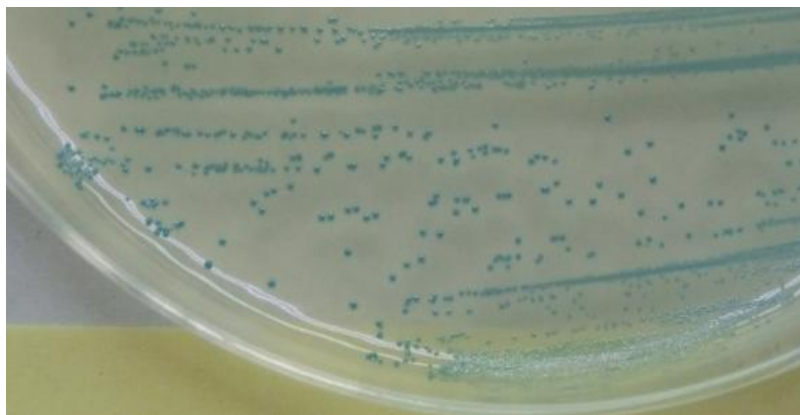
結核菌の感染経路等の解明のため、結核菌の遺伝子学的検査を実施し、集団感染予防等の結核対策に活用しています。

| JATA No. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | ... |
|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|-----|
| A | 4 | 4 | 2 | 2 | 3 | 1 | 5 | 4 | 2 | 10 | 4 | 4 | ... |
| B | 4 | 4 | 2 | 2 | 3 | 1 | 5 | 4 | 2 | 10 | 4 | 4 | ... |

VNTR分析のパターン 一致例

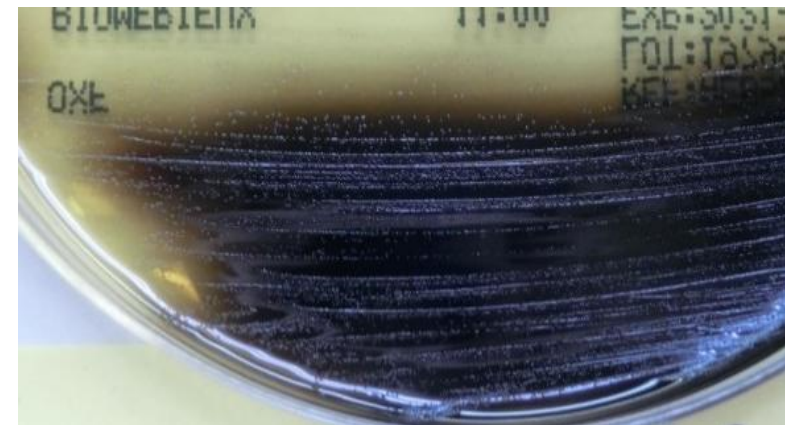
食品安全対策事業

食品の安全確保のため、県内で製造流通している乳製品のリステリア菌の検査を実施



← クロモアガー
リステリア培地

オックス
フォード培地 →



医療機器一斉監視指導事業

県内医療機器製造業者から収去された医療機器の無菌試験を実施



収去品（滅菌医療機器）

←

使用するTGC培地、SCD培地

→



レファレンスセンター業務

国立健康危機管理研究機構(JIHS)・国立感染症研究所(感染研) 及び地方衛生研究所は、衛生微生物技術協議会を核としたネットワークを形成し、**検査法共同開発、各ブロックへの技術移転と検査技術の維持、検査用試薬等の維持と供給、各地域における検体検査等の活動**を実施。

<北海道・東北・新潟支部レファレンスセンター>

| 北海道 | 青森県 | 岩手県 | 秋田県 | 福島県 |
|-------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 麻しん・風しん ボツリヌス | リケッチア アデノウイルス | インフルエンザ | 百日咳 カンピロバクター 薬剤耐性菌 | エンテロウイルス 溶血性レンサ球菌 リケッチア |
| 宮城県 | 仙台市 | 山形県 | 新潟県 | |
| アルボウイルス ノロウイルス | レジオネラ | 麻しん・風しん 動物由来感染症 結核 | アデノウイルス | |

新興再興感染症発生時の検査対応

◆感染症の原因となる病原微生物を迅速、かつ正確に同定することにより、患者の治療や感染拡大防止対策に寄与しています。



BSL3実験室

◆新型コロナウイルス感染症のように、海外からの流入等により、国内で新たな感染症が発生した場合は、**国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所**と連携して迅速に検査体制を構築し、県内での患者発生時に備えます。



次世代シーケンサー

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「令和5年度感染検査体制強化事業」により、感染症検査に必要な機器の追加整備や更新を行い、感染症発生時の検査体制強化を図っています。

感染症の発生に備え、県民の安心・安全を確保していきます

調査研究事業

令和5年度～令和7年度 調査研究

「市場に流通する魚介類のアニサキス寄生状況調査」

Q. アニサキスとは？

アニサキスは**寄生虫（線虫）**の一種です。幼虫は長さ2～3cm、幅0.5～1mm位で、白色の少し太い糸のように見えます。幼虫は**サバ、イワシ、カツオ、サケ、イカ、サンマ、アジ**などの魚介類に寄生します。魚介類の内臓に寄生している幼虫は魚介類が死亡すると、内臓から筋肉に移動することが知られています。

Q. アニサキスによる食中毒はなぜ起こる？

幼虫が寄生している生鮮魚介類を**生（不十分な冷凍又は加熱のものを含む）**で食べることで、幼虫が胃壁や腸壁に刺入して食中毒（アニサキス症）を引き起こします。



調査研究事業

福島県におけるアニサキス食中毒発生状況

| | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 件数 | 11 | 58 | 28 | 29 | 31 | 43 | 22 |
| 患者数 | 11 | 59 | 29 | 30 | 31 | 43 | 22 |

(福島県食品生活衛生課HPより)

<調査研究の概要>

人工消化液を用いて魚体からアニサキス虫体を検出する方法、並びに遺伝子解析によるアニサキス虫体の種の同定についての検査法の検討を行った。

また、県内に流通する魚介類のアニサキス寄生状況を明らかにするとともに、保存温度の違いによるアニサキス虫体の動きを調査し、筋移行への目安を探った。

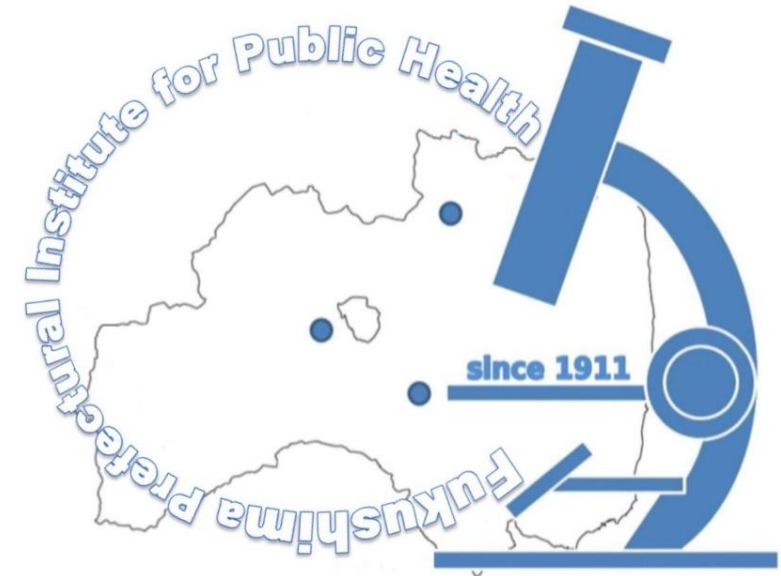
研究結果は、事業者への衛生指導や県民への注意喚起に活用。



最近の感染症発生動向について

< 6月第3週 までの調査結果での特徴 >

- 国内では、**麻しんの発生**が継続 →特に大都市圏で
⇒ **夏型ウイルス感染症の流行の兆し**
- **SFTS(重症熱性血小板減少症候群)**の流行に注意
⇒ **マダニ**に刺されないように



現在のところ、世界的なパンデミックになりそうな感染症の報告はないが、

- クルーズ船内で**ハンタ(アンデス)ウイルス感染症**について
⇒ 新たな感染者数の増加はない →このまま終息可能か？
- コンゴ民主共和国とウガンダで**エボラ出血熱クラスター**発生 →**注意喚起**
⇒ 対応が後手に回り、感染拡大を招いたが、**徐々に対策が浸透**
→ **感染コントロールが少しずつ可能に？**